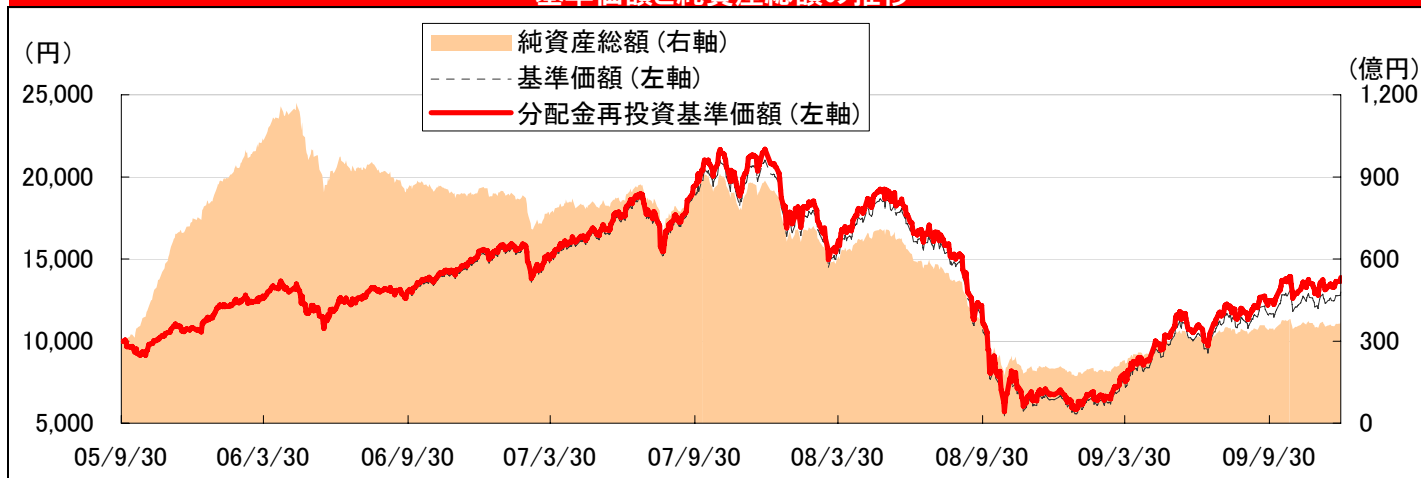


HSBC BRICs オープン

追加型投信/海外/株式

基準価額と純資産総額の推移



* 基準価額は信託報酬控除後のものです。分配金込基準価額は税引前分配金を再投資したものです。将来の分配金の金額は、運用状況によって変化します。

商品概要

商品分類	追加型投信/海外/株式
設定日	2005年9月30日
信託期間	無期限
決算日	原則、9月29日/年1回決算

基準価額等 (2009年12月30日現在)

1万口当たり基準価額(円)	12,984
設定来高値(2007年12月28日)	21,018
設定来安値(2008年10月28日)	5,441
純資産総額(億円)	369.1

* 基準価額は信託報酬控除後のものです。

税引前分配金の推移(1万口当たり)

決算期	分配金(円)
第1期(06年9月29日)	200
第2期(07年10月1日)	300
第3期(08年9月29日)	200
第4期(09年9月29日)	200
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
設定来累計	900

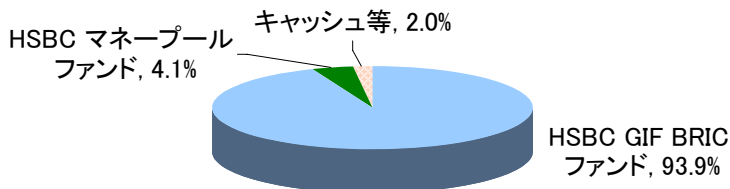
* 将来の分配金は運用状況によって変化します。

期間別騰落率(税引前)

1ヶ月	6.9%
3ヶ月	11.2%
6ヶ月	27.0%
12ヶ月	105.8%
36ヶ月	-10.4%
設定来	38.6%

* 基準価額の騰落率は税引前分配金を再投資したものと計算しています。

信託財産の構成



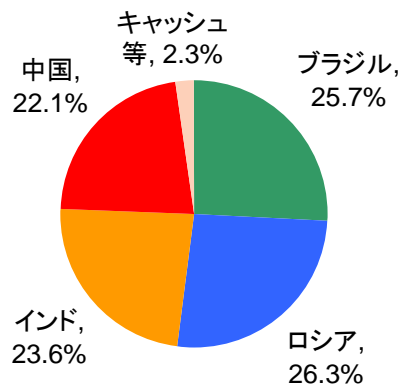
*表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なりスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC GIF BRIC ファンドの状況 (2009年12月31日現在)

国別投資配分



* 国別投資配分は派生商品による投資も含まれます。

業種別組入比率

業種	比率
石油・ガス	24.5%
金融	21.7%
素材	13.1%
消費財	10.2%
資本財	8.9%
テクノロジー	7.4%
通信サービス	5.9%
消費者サービス	2.8%
ヘルスケア	1.9%
公益	1.3%
その他	0.0%
キャッシュ等	2.3%
合計	100.0%

*表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

組入上位銘柄と対純資産組入比率

順位	銘柄名	国名	セクター	比率
1	ガスプロム	ロシア	石油・ガス精製	4.3%
2	ルクオイル ADR	ロシア	石油・ガス精製	4.2%
3	ケアン・エナジー	インド	石油・ガス精製	3.5%
4	ロスネフチ GDR	ロシア	石油・ガス精製	3.0%
5	ズベルバンク	ロシア	銀行	2.9%
6	イタウ・ユニバンコ PN ADR	ブラジル	銀行	2.4%
7	マルチ・スズキ・インディア	インド	自動車・部品	2.3%
8	HCLテクノロジー	インド	ソフトウェア・コンピュータサービス	2.2%
9	ガスプロム ADR	ロシア	石油・ガス精製	2.1%
10	中国人寿保険	中国	生命保険	1.8%
組入銘柄数				156

* 銘柄名は、情報サービス業者の表記を参考にHSBC投信が翻訳したものであり、発行体の公式な和文名称と異なる場合があります。

* 優先株・普通株など、またそれらのADR・GDRは各々別銘柄として表記しています。なお、原則として優先株をPN、ユニット株をUNIT、新株予約権付証券・エクイティリンク証券をELNと注記しています。

* セクター・業種分類はインダストリー・クラシフィケーション・ベンチマーク(ICB)を参考にしています。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

【12月のBRICs各国の株式市場と主要投資対象先ファンドの投資戦略】

12月のBRICs各国の株式市場は概ね底堅く推移しました。

世界経済はなお不透明要素を残しており、引き続き米国をはじめとする先進国や中国を中心とする新興国のマクロ経済動向を注視する必要があります。しかしながら、世界経済は基調的には緩やかな回復局面に入っているものと見られます。今後、世界的に景気回復が一層明確となり、投資家のリスク選好度が高まる中で、成長ポテンシャルの高いBRICs各国への注目度が一層高まることが期待されます。

【各国株式市場及び主要投資対象ファンドであるHSBC GIF BRIC ファンドの運用状況】

国別配分では、ブラジル、ロシアを引き上げ、インド、中国を引き下げました。

配分比率は以下のようになりました(いずれも11月末→12月末)。

ブラジル25.4%→25.7%、ロシア25.8%→26.3%、インド23.8%→23.6%、中国22.9%→22.1%

【ブラジル株式市場】

ブラジル株式市場は、ボブスバ指数が前月末比+2.3%となりました。7-9月期の実質GDP(国内総生産)成長率は、前期比+1.3%、前年同期比-1.2%となり市場予想を下回ったものの景気回復を確認できる結果となりました。鉱工業生産は9月の前月比+1.7%から10月は同+2.3%へ、前年同月比では-3.1%と依然マイナスながら下落率は前月の同-7.6%から縮小しました。小売売上高も9月の前月比+0.7%から10月は同+1.6%へ、前年同月比も同じく+5.1%から+8.6%へと加速しました。インフレ指標は落ち着いており、IPCA(拡大消費者物価指数)は、10月の前年同月比+4.17%から11月は+4.22%へと上昇しましたが、引き続き中銀の目標中央値+4.50%を下回っています。

【ロシア株式市場】

ロシア株式市場はRTS指数が前月末比+5.1%となりました。経済指標には改善の兆しが表れており、11月の鉱工業生産は前月比+2.0%と3ヶ月連続でプラスを記録、前年同月比では+1.5%と2008年10月以来のプラスの伸びとなりました。12月21日時点の年初来のCPI(消費者物価指数)は+8.8%となりました。政府は2010年のインフレ率は+6.5%~7.5%と予想しています。中央銀行は実体経済をさらに下支えするため、28日に政策金利であるリファイナンスレートを0.25%引き下げ8.75%としました。利下げは2009年4月の開始以来10度目となり、利下げ幅は合計で4.25%となりました。

【インド株式市場】

インド株式市場はSENSEX30指数が前月末比+3.2%となりました。インド経済は本格的な回復に向かっていきます。実質GDP成長率は4-6月期の前年同期比+6.1%から7-9月期は同+7.9%となりました。鉱工業生産は9月の前年同月比+9.6%から10月は同+10.3%へと加速しています。政府内では「会計年度2009/10の実質GDP成長率は最大+8.0%の達成が可能」(ムカジー財務相)との楽観論が広がっています。12月19日時点の食料品のインフレ率(WPI、前年比)は+19.8%と引き続き高水準にあります。市場関係者の間では、食料品価格の上昇基調をインフレ再燃の兆しと受け止め、金融引き締めへの警戒感を強める向きもあります。

【中国株式市場】

香港市場上場の中国株式は、H株指数が前月末比-1.4%、レッドチップ指数は同+1.1%となりました。景気は順調に回復しており、工業生産は10月の前年同月比+16.1%から11月は+19.2%へ、小売売上高は同+16.2%から+15.8%へと若干伸び率が低下したものの高水準の伸びが続いています。また、1-11月の都市部固定資産投資は前年同期比+32.1%と大幅増となっています。他方、11月の消費者物価指数は前年同月比+0.6%と10ヶ月振りのプラスとなり、生産者物価指数は12ヶ月連続のマイナスながら同-2.1%とマイナス幅が縮小しました。温家宝首相は12月27日に現行の景気刺激策の継続を強調、出口戦略の先送りを示唆しています。

【HSBC マネープールファンド】

12月の短期国債の利回りは、3ヶ月物が0.12%近辺で推移しました。このような環境のなか、同ファンドの運用においては、リスクを抑えながら、短期国債、政府短期証券への投資を基本として引き続き安定的な運用成果を目指す方針です。

設定・運用:HSBC投信株式会社

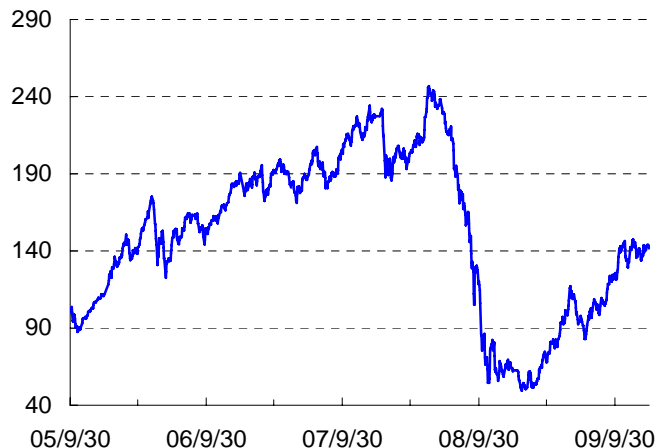
投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なりスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

<ご参考> 各国株価指数の推移(2005年9月30日~2009年12月30日)

<ブラジル ボベスパ指数>



<ロシア RTS指数>



<インド SENSEX指数>



<中国 H株指数>



* 各国株価の推移グラフでは、ブルームバーグからの数値(RTS指数は米ドルベース、他は現地通貨ベース)を基に2005年9月30日を100として指数化しております。また、上記グラフにおける株価指数の動きはBRICs各国の株式市場の動向を示すために参考として掲げたものであり、BRICs4ヶ国における実際の株式運用によるファンドの基準価額の推移とは必ずしも一致しません。

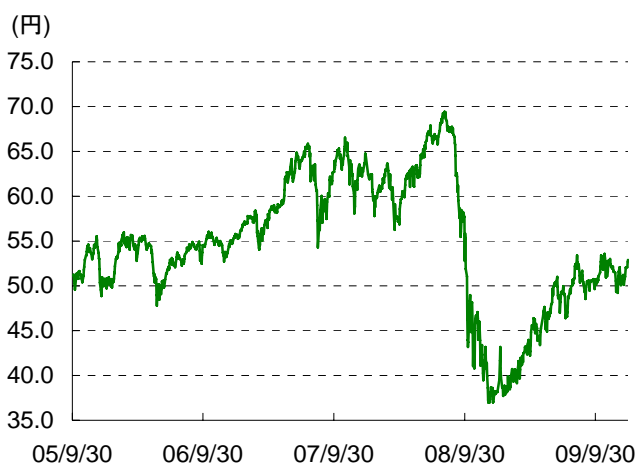
出所:ブルームバーグ

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なりリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

<ご参考>関連通貨の推移(設定日(2005年9月30日)~2009年12月30日)

<ブラジルレアル/円>



<ロシアルーブル/円>



<インドルピー/円>



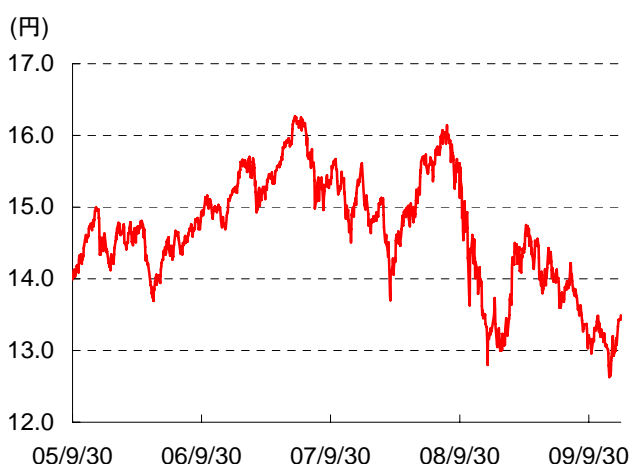
<香港ドル/円>



<米ドル/円>



<中国人民元/円>



出所:投資信託協会

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

当ファンドの特色

BRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)諸国の証券取引所に上場している株式等に投資

当ファンドは、BRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)諸国の株式等に投資する米ドル建てのルクセンブルグ籍証券投資法人「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド BRIC Equity クラスJ」※1およびわが国の証券投資信託「HSBC マネープールファンド(適格機関投資家専用)」※2の投資信託証券を主要投資対象とします。

※1 略称は、「HSBC GIF BRIC ファンド」です。なお、ファンドの呼称が変更される場合があります。

※2 略称は、「マネープールファンド」です。

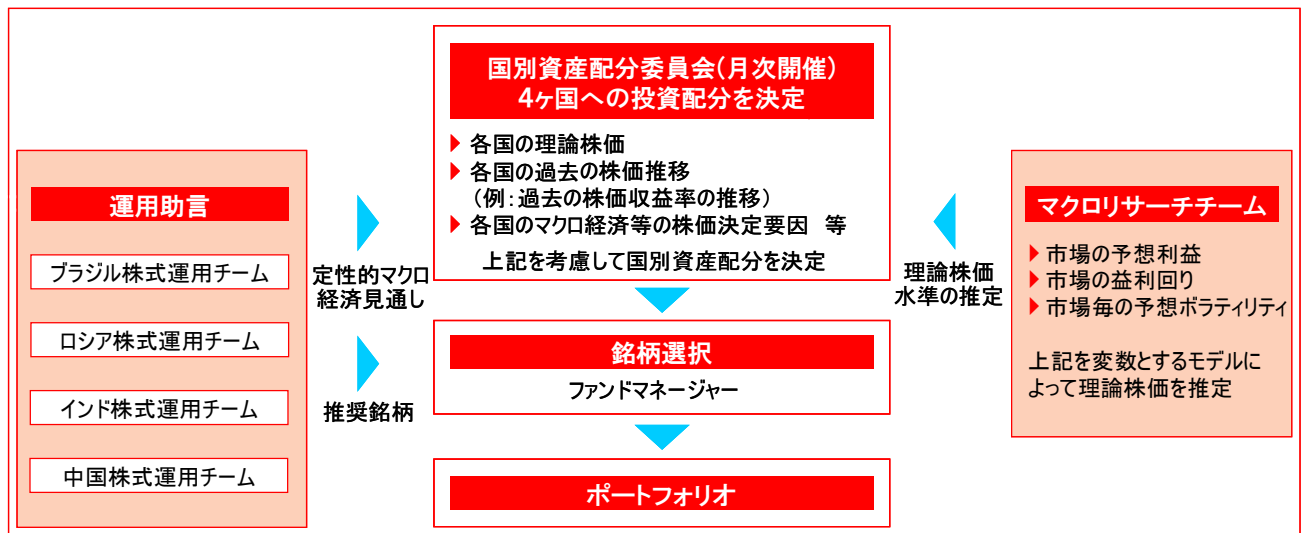
新興国市場の有価証券は一般的に先進国の有価証券と比較して値動きが大きいいため、基準価額の値動きも大きくなる傾向があります。

BRICs4ヶ国のベストアイデアを集約

当ファンドは、ベンチマークを定めていません。したがって業種別配分、個別銘柄の時価総額は銘柄選定時に考慮せず、各国の担当者が最も効率的と判断する銘柄に投資します。

BRICs各国の株価水準、リスク等に基づく国別配分を決定

「HSBC GIF BRIC ファンド」投資プロセス(BRICs4ヶ国のベストアイデアと国別配分の融合)



原則として為替ヘッジは行いません

外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

為替レートの変動により基準価額は変動します。投資対象資産の通貨に対し円高になった場合、基準価額が下落する要因となります。

ファンド・オブ・ファンズ形式で運用

ファンド・オブ・ファンズとは、複数の投資信託(ファンズ)に投資する投資信託(ファンド)のことをいいます。

当ファンドの仕組み



市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

設定・運用: HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

当ファンドの主なリスク

当ファンドは実質的に外国株式を投資対象としています。当ファンドの基準価額は、実質的な組入株式の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。以下は、当ファンド（投資先投資信託証券を含みます。）に関する投資リスク（基準価額に影響を及ぼすリスク）の一部要約であり、すべてのリスクを網羅するものではありません。当ファンドのリスクの詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

1 株価変動リスク

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は短期的または長期的に大きく下落することがあります。株式市場には株価の上昇と下落の波があり、これが繰り返される傾向にあります。現時点で価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。

2 信用リスク

株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。

3 為替変動リスク

外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。

4 流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。

5 カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引に関する規制の変更や新たな規制が設けられた場合には、投資方針に沿った運用が困難になることがあります。

当ファンドのお申込みに関しては、上記のリスクをご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身でなさいますようお願い申し上げます。

留意点

当資料はHSBC投信株式会社が作成した販売用資料(販売会社固有情報部分を除きます。当該情報の詳細については販売会社にお問い合わせください。)です。当資料は信頼に足ると判断する情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の記載内容等は作成時点のものであり今後変更されることがあります。またデータ等は過去の実績を示したものであり将来の成果を示唆するものではありません。投資信託はリスクを含む商品であり、株式、公社債および投資信託証券等値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は組入有価証券の値動き、為替変動による影響を受けます。したがって元本が保証されるものではありません。投資信託の運用成果(損益)は全て投資家の皆様に帰属します。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。取得申込に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面を必ずお受け取りの上、内容をご確認いただきご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社 HSBC投信株式会社	受託会社 住友信託銀行株式会社 (再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)	販売会社*
当ファンドの委託会社として、信託財産の運用指図等を行います。	当ファンドの受託会社として、信託財産の保管、管理、計算、その他の付随業務等を行います。	当ファンドの販売会社として、募集・販売の取扱い、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資に関する事務、収益分配金、一部解約金および償還金の支払等を行います。

※ 販売会社固有情報(金融商品取引業者(登録番号)、加入協会等)については、当資料内「お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求は「」をご覧ください。販売会社は、投資信託説明書(交付目論見書)の提供場所になります。

照会先

HSBC投信株式会社 電話番号 **03-3548-5690** ホームページ **www.assetmanagement.hsbc.com/jp**

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

お申込みに関する要項

お申込みメモ

信託期間	無期限(設定日:平成17年9月30日) なお、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等は、信託を終了させる場合があります。
申込単位	販売会社が個別に定める単位とします。 「一般コース」と「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。 申込単位、取扱いコースの有無および各コースの名称は販売会社によって異なります。
申込価額	取得申込受付日の翌営業日の基準価額
決算および収益分配	年1回の決算時(9月29日、休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づき分配します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。
解約単位	販売会社が個別に定める単位とします。
解約価額	解約申込受付日の翌営業日の基準価額
解約代金支払日	解約申込受付日から起算して8営業日目以降
課税関係	原則として、収益分配金ならびに、解約時および償還時の譲渡益(法人の場合は異なります。)に対して課税されます。 なお、課税区分は株式投資信託です。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。 (税法等が改正された場合には、内容が変更になることがあります。)
申込受付不可日	国内の営業日であっても、以下のいずれかに該当する場合には取得および解約の申込受付は行いません(「申込受付不可日」といいます。) ブラジルの証券取引所の休場日の翌営業日、米国の証券取引所の休場日の翌営業日、イギリスの証券取引所の休場日、インドの証券取引所の休場日、香港の証券取引所の休場日、ルクセンブルクの銀行休業日、ロシアの証券取引所の休場日 〔なお、平成22年2月1日以降、「申込受付不可日」は以下に変更する予定です。 ブラジルの証券取引所の休場日、米国の証券取引所の休場日、イギリスの証券取引所の休場日、インドの証券取引所の休場日、香港の証券取引所の休場日、ルクセンブルクの銀行休業日、ロシアの証券取引所の休場日〕
申込受付時間	原則として、午後3時までとします。受付時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日の取扱いとなります。ただし、受付時間は販売会社によって異なる場合があります。

当ファンドにかかる費用

申込時に直接ご負担いただく費用

申込手数料	申込価額に3.675%(税抜3.5%)を上限として、販売会社が個別に定める手数料率を乗じて得た額
-------	--

換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額	ありません。
換金手数料	ありません。

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬	(1)当ファンドの信託報酬:純資産総額に対して 年1.365%(税抜年1.3%) (2)投資先投資信託証券の各々の純資産総額に対して ①「HSBC GIF BRIC ファンド」 ・マネジメンフィー:年0.6% ・パフォーマンスフィー*:ハードルレート(年率5%)を越えた部分の20% ②「マネーパルファンド」の信託報酬:年0.042%(税抜年0.04%) *平成22年1月22日より、パフォーマンスフィーを廃止する予定です。 ※上記の数値は当資料作成時現在のものであり、今後変更となる場合があります。
その他費用	(1)有価証券売買委託手数料/外貨建資産の保管費用/借入金利息、融資枠設定に要する費用/信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用、受託会社が立替えた立替金利息等 (2)投資信託振替制度に係る手数料および費用/法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用/当ファンドの受益者に対して行う公告に係る費用/法定書面の作成、印刷、交付に係る費用/監査報酬および法律顧問、税務顧問に対する報酬および費用等((2)の項目については純資産総額に対し上限年0.2%としてファンドより支払われます。) (3)その他に、投資先投資信託証券における売買委託手数料、監査報酬、カストディーフィー、登録・名義書換代行会社報酬等がかかります。 (その他費用の上限額については、事後的に発生するものがあるため表記できません。)

※費用総額については、事後的に発生するものがあること、また運用状況等により変動するため表記できません。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

設定・運用:HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号 加入協会/(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なりスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

